

## 1年探究科学科 立山実習

令和6年7月30日（火）に、探究科学科1年80名が生物班、地学班、歴史班、地理班の4班に分かれ、「立山実習」を行いました。天候が崩れ立山有料道路の交通規制などあり、できる範囲での実施となりました。教科書や資料だけでない学びを体験することができました。

### 【生物班】

今年は天気に恵まれませんでした。美女平、室堂、弥陀ヶ原で、予定通りに自然観察を行うことができました。富山県自然保護協会の方に解説していただきながら五感を使って植物を観察し、立山自然保護センターで立山の地形とライチョウや植物の関係性を学びました。また、各班が設定したテーマに沿って、環境に応じて変化させる植物の形態や、外来種の侵入状況などを調査したことで、立山の壮大な自然を再認識すると共に、自分たちが立山の自然を守るためにできることを考えるよいきっかけとなりました。



生物班：室堂平での観察

### 【地学班】

雨天の中立山実習に出かけました。当初の予定では室堂を散策、特に室堂山登山、がメインでしたが、室堂は横殴りの雨とガスの中。少しの晴れ間に、立山の基盤岩である白い岩石（花崗岩類）と弥陀ヶ原をつくる黒い岩石（安山岩質溶岩）を観察しました。帰路では美女平桂台が通行止めとなり、おかげでケーブルカーに乗ることができました。実際にできた実習は、標高ごとの気圧を気圧計および気体の体積変化からの測定、大転石の大きさ測定でした。また、バス移動の途中に扇状地地形、天井川、防災センターの気象レーダーを観察しました。今までとは違った地学的な視点から立山という自然を見ることを学びました。



地学班：大転石の測定

### 【歴史班】

まず立山博物館で、常設展示「立山信仰の舞台」「立山信仰の世界」と企画展「立山・白山・富士山を巡る－立山衆徒と三禅定－」を観覧し、立山の歴史、立山信仰や立山曼荼羅について学びました。午後からは室堂平を散策し、室堂や玉殿の岩屋など立山信仰に関連するところを見学する予定でしたが、悪天候のため有料道路が通行禁止になったため、引き続き、立山博物館の遙望館や教算坊、山岳集古未来館を見学しました。室堂平に行けなかったのは残念でしたが、立山信仰についてより詳しく知ることができ、また、「信ずる」とは何か、「信仰心」とは何かなど、これまであまり意識してこなかったことに思いをめぐらせ、改めて、自分たちのあり方を考えるよい機会となりました。



歴史班：立山博物館で企画展の説明を聞く

## 【地理班】

まず訪ねたのが富山新港火力発電所。ここは石炭、石油、液化天然ガス（LNG）と3つの燃料を使う発電所で、この様なタイプは全国でここだけとか。LNGを使ったコンバインド発電で60%近いきわめて高効率の発電機を見学。大出力の割には大きさも騒音も意外と小さかったのが印象的でした。

午後は有峰ダムを見学。エレベータを使いダム内の通路、そして展望台へ。巨大な構造物に圧倒されました。和田川第二発電所でもタービン軸が回転するのを間近に見学し、力強さを感じました。

普段何気なく使っている電気ですが、その裏には多くの人・機材が関わっていることを実感できた貴重な体験でした。



地理班：和田川第二発電所のフランシス水車の前で記念撮影

事後研修として、翌日7月31日（水）に班毎に発表を行い、研修内容を共有しました。9月28日（土）の文化祭では、事後研修で作成したポスターを展示する予定です。